

# 6月の県内景況は、「収益状況」など6項目が改善したものの「業界の景況」は悪化し、依然低調である。

情報連絡員による平成27年6月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は23.7%（前月比-1.3）となっており、「横這い」は30.5%（同-4.5）、「低調」とするところが45.8%（同+5.8）、業界全体の「景況感DI」は-22.0（同-7.0）となっています。

## 1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

- ◇「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」の項目において前月と比較して改善しています。
- ◇前年同月と比較して、繊維製品製造業、サービス業及び建設業は「快晴」または「晴れ」、鉄工機械製造業、その他製造業、卸売業、小売業は「曇り」または「薄曇」、その他の業種はすべて「大雨」または「雨」となっています。
- ◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が18.6%（前月比+5.3）と増加しております（好転の回答0件、やや好転の回答11件）（製造業3、非製造業8）。また、変わらないが、61.0%（前月比-4.0）と減少しております。やや悪化、悪化の見込みは、20.4%（前月比-1.3）と減少しております。

平成27年6月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率98%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	-57.14	-57.14	0.00	14.29	-57.14	-42.86	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-42.86	-42.86
繊維製品製造	33.33	66.67	0.00	33.33	66.67	66.67	33.33	33.33	-33.33	-33.33	0.00	33.33
木材製品製造	-50.00	-100.00	0.00	-50.00	-75.00	-100.00	-25.00	-50.00	0.00	-50.00	-25.00	-100.00
鉄工機械製造	-40.00	0.00	0.00	20.00	-20.00	20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-40.00	0.00	-20.00
その他の製造	-14.29	28.57	0.00	28.57	-14.29	-14.29	0.00	0.00	0.00	0.00	-14.29	-14.29
卸売業	0.00	0.00	25.00	0.00	-50.00	-50.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	-25.00	-25.00
小売業	-33.33	-33.33	11.11	11.11	-11.11	-22.22	-11.11	-22.22	-11.11	-22.22	-11.11	0.00
商店街	-16.67	-33.33	0.00	-16.67	-33.33	-50.00	-33.33	-33.33	0.00	0.00	-50.00	-50.00
サービス業	-33.33	16.67	16.67	16.67	-16.67	0.00	0.00	0.00	16.67	33.33	0.00	16.67
建設業	40.00	60.00	0.00	40.00	0.00	20.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00	20.00
運輸業	66.67	-33.33	0.00	33.33	-33.33	0.00	0.00	-33.33	-33.33	-66.67	0.00	-66.67

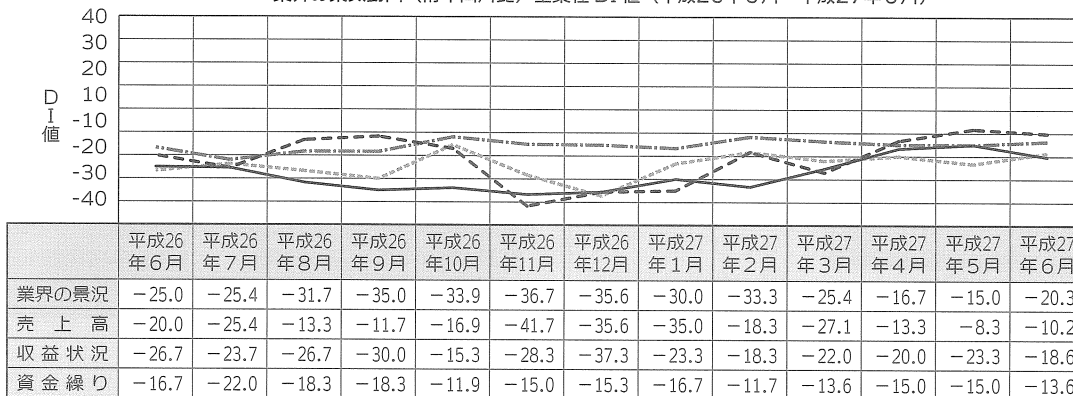
## 天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

## D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすぐもり -10~10未満
- 曇り -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成26年6月～平成27年6月）



## 食料品製造業

### <漬物>

生野菜が高騰し、売上はあまり下がっていないが、仕入価格が高くなり、利益がでない状況にある。

### <味噌醤油>

味噌・醤油の出荷量は、昨年4月の消費税増税により、3月の駆け込み需要などで4月に反動があったが、本年度の4月はやや回復したものの、本年の5月までの出荷量は昨年同期より、味噌・醤油ともに数%減少している状況。風評が根強く残っている感じがする。さらに主原料の価格は高値水準を維持しており組合員の運営は厳しい。

### <菓子>

組合員の減少は止まった感じがするが、今後注視する必要があると思う。コンビニとの競争が一段と激しくなり、好転の兆しは今のところ見えない。

### <酒造>

売上がなかなか伸びない。イベントでの販売はまずまず好調だが、一般小売、ギフト等が厳しいと思われる。吟醸、純米は前年比100~110%で推移、本醸造、普通酒は前年比85%で全体は前年比93%で推移している。

### <食品団地>

大きな天候不順もなく、梅雨入りも例年より遅かったため、5月の暑さによる反動の影響も少なかった。しかし、原油価格は少しずつ上がっており、原料等の価格高騰も続いているため各組合員企業の収益は厳しい状況が続いている。

## 縫製品・同製品製造業

### <ニット>

秋冬物の先行受注が入り、全体的に好況である。

## 木材・木製品製造業

### <製材業>

木材製品の回復見通しが立たず、製材工場では素材(丸太)の入荷を抑制していることから、丸太価格は5月の急降下からさらに一段下げの状況になっている。丸太の値下がりには製材加工業者にとっては大きな救いではあるが、丸太の出材減は相場の急反発につながりやすいだけに、警戒感も強まっている。

### <外材輸入>

全国の住宅着工数は前年比でプラス傾向になっているが、梅雨を前に製材品の荷動きは先月に引き続き低調であり、各工場の稼働率も改善していない。

## 紙・紙加工品製造業

### <紙器・段ボール>

高性能の機械を所有している業者は、小ロットに悩まされ、お客様のニーズや製品ロットに合わせて機械の使い分けと製品に合わせた製造方法で臨機応変に対応しているが、採算がとれる状況にない。

## 印刷業

### <印刷>

受注状況については弱含みである。夏場に向けての見通しは、景気悪化の心配がみられる。

## 窯業・土石製品製造業

### <碎石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約12%の増
2. 当月売上高の昨年同月比 約20%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約20%の増
4. 原因・状況 放射線除染工事等への出荷で増となっている。

### <生コン>

平成27年6月の組合員生コン出荷数量は、194,736m<sup>3</sup>と対前年同月比17.6%の増。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比2.4%の減、官公需が58.2%の増であった。

#### ■民需の動向

対前年同月比 2.4%の減

①対前年同月比増加地区

<県中地区> 18.9%の増

マンション新築工事、工場増築工事等

<いわき地区> 25.7%の増

物流センター建設、工場増設工事、マンション新築工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 8.3%の減

高齢者福祉施設新築工事等

<白河地区> 2.4%の減

電気量販店新築工事、倉庫・事務所建設工事等

<相双地区> 6.4%の減

原発保安対策工事等

<会津地区> 30.0%の減

会津オリンパス、工場増設工事等

#### ■官公需の動向

対前年同月比 58.2%の増

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 23.5%の増

霊山及び馬館山トンネル、医療科学センター新築工事等

<県中地区> 65.8%の増

環境創造センター、西部第一工業団地造成工事、片平橋梁下部工工事等

<いわき地区> 20.2%の増

港湾災害復旧、災害公営住宅新築工事、小名浜東港関連工事等

<相双地区> 114.9%の増

モックアップ施設、減容化施設工事、LNG基地工事、海岸復旧工事等

<会津地区> 77.9%の増

トンネル補修工事、磐梯町地域交流センター建設工事、道路橋梁整備工事等

②対前年同月比減少地区

<白河地区> 10.0%の減

藤沼湖復旧工事、石川町役場、矢祭小学校建設工事等

## 鉄鋼・金属・一般機械製造業

### <鉄工>

(県中地区)

鉄骨は良いが、部品加工は思わしくないところもある。

### <各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、先月の集中定修工事が一段落したため売上高で前月比55%と減少に転じたが、前年同月比では110%と1割増の状況となっている。しかし、前年累計比で見ると70%と低調な点が先行きに不安感含みである。

## 卸売業

### <卸売業>

(県中地区)

組合員の業況は6月期に入っても、概ね順調に推移している。卸団地地域に関しては、進出を希望する企業がさらに増えてきたが、紹介できる物件がほとんどない状況。ここにきて建築資材の動きがやや鈍くなってきているとの声がかかれ始めた。

### <再生資源>

6月は梅雨入りが大幅に遅れ、例年よりも好天に恵まれた。古紙の入荷量は天候に左右されやすいが、晴れの日が続いた割に、入荷量は増えていない。梅雨入りの遅れ分、梅雨明けの時期が心配されるが、商工会のプレミアム商品券や中元商戦等、消費の拡大に期待し、それに伴う包材関連の排出増に期待している。

## 小売業

### <共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

売上前月比実績は、GWのイベントがあり想定内。前年比はほぼ横ばい。7月は、誕生祭を予定しているので、イベント効果を期待したい。

(県中地区のNショッピングセンター)

開店から20年をむかえ、新たなコンセプトのもと再生が必要と思われる。顧客も高齢化が進む中、新たに30~40代の顧客の取り込みが求められる。

### <石油>

6月は、元売仕切が上昇し、小売価格も上昇となった。しかし、6月下旬にかけての天候不良により、需要は大きく減退し、厳しい経営状況となった。

### <青果>

西日本の局地的な豪雨に比べ、遅い梅雨入りで雨量が少なく、野菜の生育に影響がでて、前月同様、単価の高騰につながった。梅の取扱も始まったが、単価の高騰もあり、それほど取扱増加にはならなかった。家庭菜園での収穫も始まり、来月には全体的な単価が落ち着くものと考え、桃の取扱も始まるので取扱増加に期待したい。

### <電機>

天候不順のため全体的にエアコン関連が低調。暑さの到来に期待したい。

## 商店街

### <福島市>

6月前半は、前月からの低調傾向が継続。後半になり、観光客ではなくビジネス客が増え、全体的に人の動きが活発化してきた印象。

### <郡山市>

6月の土・日曜は総じて来街者数は低調だったようだ。夏の北海道展以外は大きなイベントもなく、消費動向はまだ低い感じがする。今は、秋に予定しているプレミアム付き商品券が話題になっているが、そこま

でに景気が低迷しなければいいなと願うばかり。

### <南相馬市>

プレミアム商品券が発行され、まずまずのスタートを切った。7月には当商店街が運営するコミュニティショップが開店する。商店街のにぎわいが戻ってくることを期待したい。

### <会津若松市>

特に大きなイベントもなく、天候不順のため、全体的に低調であった。

### <いわき市>

梅雨入りも遅く、本格的な雨も降らず、前半までは売上も順調の様子だったが、一転して後半からお客様の動きが止まったように感じる。アパレルは暑い日が少ないため夏物が中だるみ、郊外店が突発で誕生祭を催したことの影響だろうか、6月としては厳しくなった。飲食店は相変わらず好調が続いている。

## サービス業

### <旅館業>

(土湯温泉)

ふくしまステイネーションキャンペーン効果により、4月・5月に引き続き県内業界全体の景況感は良かった。また、いろいろなトラブルはあったものの、旅行商品券の販売により景況アップに繋がった。7月は、その反動が来るので、ふくしまステイネーションキャンペーンで実施してきたおもてなしの気持ちを忘れずに受け入れしていきたい。ただ、不安材料として日本各地で発生している火山活動や福島原子力発電所事故に伴う賠償金支払いの見直しなどがあり、今後とも予断は許されない。

### <理容業>

梅雨の時期だが、今年は天気のいい日が続き、夏向きのメニューが好調でクールビズヘアを積極的に売り込んでいる店は成果を上げているようだ。冷シャンプーも好調で、店頭販売も増えているようだ。全体的には昨年並みだというお店が多く、好景気にはまだまだだが、これ以上悪くならないよう消費者ニーズに合わせて努力するよう組合上げて講習会を開催する等して頑張っていこうと思っている。

### <廃棄物収集運搬業>

業界として大きな変動はないようだ。震災関連事業も今年度分について現在受注できるように全力で取り組んでいる。

## 建設業

### <建設業>

(県一円)

平成27年度県土木部予算額は、繰越分を合わせて2,869億円と過去最大規模となる。上半期に78%を執行予定。

(県南地区)

除染業務は継続しているが、除染以外の通常工事が減少している。建築工事は新たな発注が少ない。メガソーラー発電所のパネル架台設置工事が多くなっている。

### <管工事>

給水・排水設備申請とも前月比、前年同月比累計対比で増加している。

### <専門工事>

暑さが例年になく早く来た割には、例年になく遅い梅雨入りとなった。時期的なものもあり、建築関係の仕事は小休止しているが、7月以降は工事関係も動き始め、再びヒト・モノ・カネが動くことが予想される状況にあることはありがたいことである。グローバルな観点ではギリシャ問題が顕在化しており、国際情勢に与える影響が遠因となって我々の業界にどのような影響を与えて来るかが心配である。超円安傾向にある現状で、物流や原材料への不安などが発生すると、最終的に現場の工賃にも影響が出ることが予想されるの

で、先んじた対応を考慮する必要があるかもしれない。

### 運輸業

#### <トラック運送>

(県北地区)

共通している問題点はコンプライアンスの遵守と人材確保そして燃料費の動向である。各企業共に先月と比べて大きな変化はなく概ね横這いで推移している。

#### <ハイヤータクシー>

動きが悪く、静かである。厳しさが増している。

## 県政トピックス

2015.8

働くみんなに、  
大きな安心。

中退共は、半世紀で100万社以上の中小企業にご利用いただいている国の退職金制度です。

# 中退共 小企業退職金共済制度

## 有利

掛金は全額非課税

手数料もかかりません。

## 安全

国の制度だから安心

新規加入や掛金を増額する場合、  
掛金の一部を国が助成します。

## 簡単

社外積立で管理も簡単

納付状況や退職金試算額を  
事業主さんにお知らせします。



詳しくはホームページをご覧ください。

中退共

検索



(独)勤労者退職金共済機構  
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1  
TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211